

## 第1回検討会における指摘事項を踏まえた課題整理

課題整理	
1 <実証実験>	
1-1	過去の実証実験の成果の整理とそれを踏まえた実証実験の目的、内容の明確化 ⇒資料6、資料7
1-2	出来るサービス・ビジネスや運用の観点を考慮した実証実験の実施 ⇒・サービスレベルやコスト等を勘案した実証実験計画を策定する。 ・運用検討と連携した実証実験計画を策定する。
1-3	ルートにこだわらない、実証する内容に応じた実証場所の設定 ⇒実証実験のエリア設定に反映済み。(ルートまで決めるのではなく、検証事項に応じて場所を設定)
1-4	安全性、設備の条件等を考慮した実証実験の実施 ⇒施設管理者と十分に協議の上、安全性や設備の条件等に十分考慮した実証実験を実施する。
1-5	事務局によるベースラインの検討と、提案を踏まえたブラッシュアップ ⇒事務局案を施設管理者等と調整中。
2 <運用等>	
2-1	構成員が興味を持つようなサービスの具体化 ⇒運用検討WGでの議論を通じ、サービス内容を明確化していく。
2-2	2020年どうあるべきかを示した上でのバックキャストのスケジュールの作成 ⇒資料2として現在整理中。(今後WGでの検討をもとにさらにブラッシュアップ)
2-3	BtoG(防災等の観点等)も含むインフラの多面的な活用を考慮した検討 ⇒提案をもとに運用検討WGで検討予定。

課題整理	
3 <オープンデータ>	
3-1	<p>施設管理者と調整しながら地図やアプリをどこまで、どのようにオープンできるかを整理</p> <p>⇒実証実験WG 施設管理者と調整しながらオープンにできる範囲を整理し、来年度実証の地図等の整備手法に反映。</p> <p>⇒運用検討WG WG構成員及び提案者とオープンにできる範囲、ビジネスの範囲等について整理。</p>
4 <プロジェクトの方向性>	
4-1	<p>他のプロジェクト等との連携・調整による実証実験の実施</p> <p>⇒他の類似プロジェクトの情報を収集しているところであり、今後調整しながら実証実験を実施する。(G空間シティ、渋谷駅での実証等)</p>
4-2	<p>海外展開や国際観光誘致戦略、国際的な標準を意識したプロジェクトの実施</p> <p>⇒・オリ・パラを機に日本の科学技術を世界に発信していくことを目的とした政府のオリパラ関連会議に参画し、他省庁とも連携しながら取組を進める。 ・国際的な標準を意識してプロジェクトを実施する。</p>
4-3	<p>『「ユビキタス状況認識社会」に向けた提言』を踏まえた検討 ⇒参考資料1 今後の検討・実証実験計画に反映。</p>
5 <防災>	
5-1	<p>消防面での活用、防災センターとの連携</p> <p>⇒・提案をもとに運用検討WGで検討予定。 ・防災センターについても調査を行い、連携を検討。</p>